

〔解答らん〕

問題1 いちばんあとにひいた長い音符を階名で答える問題。

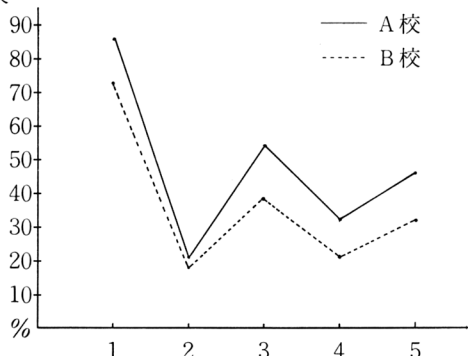
練習 →

ど

問題 →

1番	2番	3番	4番	5番
ど	ら	れ	そ	み

結果

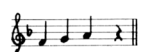


考察

「冬げしき」を学習するために、最も基盤となるへ長調の調性と短旋律の最後の長音符（主音、曲の最高音「ら」さらに最低音「そ」等）に対する聴音能力の測定であるが、A・B校とも同じ傾向を示し、「ら」と「そ」の正答が低い原因をみると、主音からのへだたりの多いものほど、ききとりにくいようである。

（問題番号－2）

こんどは、短いふしをひきますから、階名で書いてください。では、練習をしてみましょう。

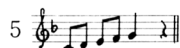
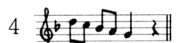
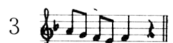
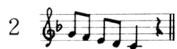
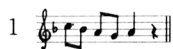


今のは「どれみ」でしたね。ですから、

--

の中に「どれみ」

と書いてあります。問題は2回ずつひきます。はじめの音は、すでにかいてありますので、その次からかいてください。（1番……もう1度……）



〔解答らん〕

問題2 音をきいて、かいめいで答える問題。

練習 →

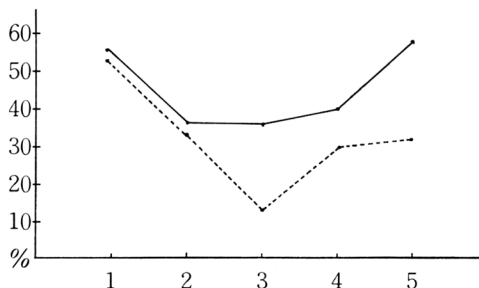
ど	れ	み
---	---	---

問題 →

1番	2番
㊦ふみれみ	㊧どしらそ

3番	4番	5番
㊨れどしど	㊩そふみれ	㊪らしどれ

結果



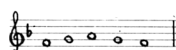
考察

順次進行による連続音（5個）をききとる問題で、でだしの音（明示ずみ）を除き4個を1つの正答として測定したためか、かなり結果がわるい。ことに、3番をみると「㊨れどしど」と、下行形の解答が多い。これらは学習時における機械的な上行・下行の音階練習が影響しているものと思われる。

（問題番号－3）

こんどは、ふしをきいて、全音符で五線紙にかいてもらいます。はじめに、解答用紙にかいてあるへ長調の音階をひきます。（音階をひく）

では、練習をしてみましょう。



練習のこたえをたしかめてください。

では、問題にはいります。へ長調の「ど」をたしかめてよくきいてください。2回ずつひきます。